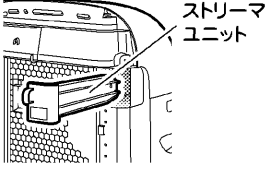
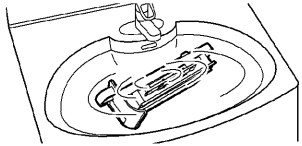
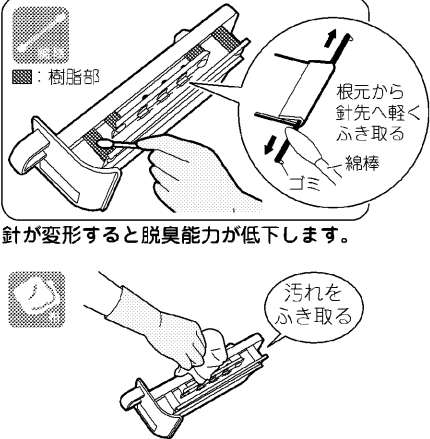

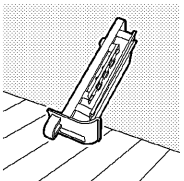


# ストリーマユニットのお手入れ

お手入れの目安	ユニット洗浄ランプが点灯したら	● ユニット洗浄
お手入れのしかた	<b>つけおき・ふき取り</b>	

汚れが気になる場合は、ユニット洗浄ランプが点灯していなくてもお手入れしてください。

**⚠ 注意**  
 ふき取りやこすり洗いの際は、**ゴム手袋**を使用してください。  
 ストリーマユニットの針で手を切るおそれがあります。

内容	注意点
①前面パネルを開け、ストリーマユニットを引き出す。 	
②ぬるま湯または水につけおきする。(約1時間) 	
③綿棒、やわらかい布で汚れを落とす。 ● 針にゴミが付着している場合は、綿棒などのやわらかいものに水や液体中性洗剤をしみ込ませて軽くふき取ってください。 ● 綿棒またはやわらかい布で内側の樹脂部(■部)や金属部の汚れを落としてください。 ● ネジは外さないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必ず浴室や台所のシンクなど、ぬれてもよい場所で行ってください。</li> <li>● 汚れがひどいときは、台所用洗剤などの液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。</li> <li>● 液体中性洗剤は洗剤の注意書きで決められた量で使用してください。</li> <li>● 粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、硬いタワシなどでこすらないでください。変形、破損、金属部のサビの原因になります。</li> </ul>
④流水ですすぎ水気を切る。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗剤が残っていると、お手入れ後もユニット洗浄ランプが消えないことがあります。また、金属部のサビの原因にもなりますので、十分に水洗いしてください。</li> <li>● 布などのせんいクスが残らないようにしてください。誤作動の原因になります。</li> </ul>
⑤風通しのよい日陰で乾燥する。(約1日) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直射日光にあてると樹脂部が変色、変形することがあります。</li> <li>● 少しでも水分が残っていると、お手入れ後もユニット洗浄ランプが消えないことがありますので、日陰でよく乾かしてください。</li> </ul>
⑥ストリーマユニットを取り付ける。	

## お知らせ

- 本体にストリーマユニットを取り付けていない状態で運転すると安全上は問題ありませんが、脱臭能力が低下します。ストリーマユニットを取り付けてからご使用ください。